

学校教育方針		中・長期目標				
定通の和を尊び、理想の追求を象徴する校章と校歌に示された精神をもとに、 1. 知性の涵養 2. 品性の陶冶 3. 心身の練磨を目的とする。		「心あらたな学び直し」、「限られた時間を活かしての学び」、「働きながらの学び」を願う生徒が安心して学習できる環境をつくり、社会の一員として生きる力を育成する。				
		今年度の重点目標 1. いじめや暴力を絶対に許さない安心安全な学校を作る。 2. 挨拶に始まるコミュニケーション力と社会性を育てる。 3. わかる授業・伸ばす指導を工夫して基礎的な学力を定着させる。 4. 地域に開かれ、地域とつながった学校を作る。				
分野	重点項目	評価の観点		評価	成果と課題	改善策
全般	キャリア教育の推進	1	自己肯定感や他者と関わる力を育むため、教科指導・「総合的な学習の時間」・行事等の学校諸活動の中で、キャリア教育的観点に立った体験活動を経験させることができたか。	B	進路講演会・面接講座等や生徒との対話の中でアドバイスを行い、自己の将来像を意識させることができた。	学校設定科目「就職チャート」を新設し、より具体的な指導を実施する。また、諸行事への参加を促し自己肯定感を育む。
	教育課程	2	課題を点検し、生徒の実態に即して改善することができたか。	B	生徒の実態にあわせた学校設定科目「ベーシック数学」の新設を決定した。	国語・数学・英語において基礎学力定着目的の「学び直し」科目の展開を通じ、課題の検討・改善を図る。
学習指導	添削指導及び授業の工夫・改善	3	添削指導や授業において、わかりやすい説明を心がけ、生徒の興味関心を引き出すことができたか。	A	視聴覚教材の導入を全職員で確認し、視覚的效果を高める教材を授業に取り入れ、授業後のアンケートでは高評価であった。	個々への丁寧で解りやすい添削や個別指導を継続し、新たな教材の研究や授業の工夫に取り組む。
		4	個々の生徒の単位修得につなげられるよう、指導内容や指導方法の工夫、改善を図ることができたか。	A	レポートの締切設定に工夫を加えたことで、レポートの提出率が向上し、前期終了時点で単位修得率が2ケタ以上向上した。	レポート提出後に指導期間を設ける締切設定の改善を行った。また、授業出席最低時数の検討を行う。
		5	学習意欲を喚起するための情報発信や支援ができたか。	B	ブチスクーリング、学習相談室の開催等スクーリング以外の学習機会を設定したが、生徒への連絡に課題が残った。	生徒へ情報が伝わらないことがあったことから、メール配信システム（絆ネット）への加入率を上げる工夫を行う。
生徒指導	集団生活のルールとマナー	6	学校生活を送るうえでふさわしい態度やマナーを身に付けさせることができたか。（授業中のマナー、禁煙、学習室の利用方法）	B	全職員が輪番制で校内外の巡視・立ち番を実施し、声掛けを行いマナーの向上に努めた。	・職員間で意識を統一し、巡視・立ち番を実施する。根気強く声掛けを行い生徒との関わりを深め、信頼関係を築いていく。 ・許可申請やIDカードの着用など目的の説明を丁寧に行い、交通マナーや校内規則の遵守から一般常識の理解や社会性の向上に結びつけていく。 ・講演会を計画し、人権に対する意識を高める取り組みを行う。
		7	バイクや自動車の通学許可制を導入し、交通マナーを向上させることができたか。	A	全職員が注意・声掛けを継続した結果、許可申請が徹底でき、交通マナーの向上に結び付いた。	
	8	IDカード携帯を徹底させる他、立ち番や校内外の巡視によって、安心・安全な環境づくりに努めたか。	A	全職員が同じスタンスで取組みIDカード着用が徹底でき、ルールを守ることで社会性も向上した。		
	9	人権意識を育てるとともに、生徒の変化を見逃さず、トラブルの未然防止に向けた取組みを行うことができたか。	B	諸活動後のレポートの通信欄を活用し、生徒との関わりを深めることで生徒理解が高まった。		
相談支援	10	個々の生徒が抱えている課題を共有し、学習活動につなげる支援ができたか。	B	相談室、担任、学年、全職員との情報の共有・連携がスムーズに行われ、個々の指導に役立てることができた。	カウンセリング希望に応えられるようより充実した体制作りのため関係機関へ協力を要請していく。	
進路指導	進学、就職指導の充実	11	個々の進路希望を把握し、本人の希望、適性に沿った指導ができたか。	A	生徒の希望を正確に把握し、係・担任以外の職員も協力し、昨年度以上の就職・進学内定者を出すことができた。	講演会や講座を学校設定科目に組み込むことで参加者を増やし、より早い時期から進路に対する意識を高め、自らが進路を決定できる力を育成する。
		12	進路ガイダンス等を通して、情報を提供し、上級学校や職業について理解を深めさせることができたか。	B	希望管内の求人一覧の送付や講座の開講を早い時期に計画し、意識を高めることができた。	
生徒活動	生徒自主活動の充実	13	生徒会や地区活動の活性化を図り、生徒が自ら計画、実行できるよう支援することができたか。	B	本部役員・地区長を中心に各行事の計画から実施まで滞りなく進めることができ、成長する生徒の姿を見ることができた。	生徒会・地区会の諸行事の目的や意義を説明する機会を増やし、参加を呼びかけると共に、生徒個々が達成感を味わえるよう支援を継続する。
		14	生徒自身が清掃に取組む機会を増やし、校内美化に努めることができたか。	B	校内外の美化活動を実施し、美化活動への意識を高めることができた。	
学校運営	円滑な学校運営	15	学校全体の教育活動が円滑に進むよう、定時制との効果的な連携を図ることができたか。	B	HPや学校案内パンフレット、振興会報等、互いの連絡を密に取り進めることができた。	さらなる連携を図り、転籍生については情報伝達の機会を持ち、指導・支援を充実させる。
		16	生徒のデータ管理と正確な資料づくりにより、校務と各指導を円滑に進めることができたか。	A	チェック体制のもと多様な生徒の膨大なデータを支障がないよう正確に処理が行えた。	チェック体制をより充実させ、管理規定に従った情報管理を徹底する。
		17	校内施設、設備の不備を点検し、安全で、学習しやすい環境づくりのため、改善を図ることができたか。	B	学校安全委員会や施設委員会により改善事項は明確にできたが、予算的な面もあり、全ての改善に結び付けられなかった。	生徒の学習意欲向上のためにも学習環境改善に向け、職員も努力するとともに、関係機関へも協力を要請していく。
		18	本校に求められた役割を職員間で共有し、行事や学校運営全般にわたる適切な見直しや改善を進めることができたか。	B	生徒の実態に応じて各部・委員会で検討・改善を行い、職員間での情報共有が行えた。	各課程内だけでなく、学校全体での情報共有にも取り組む。
	開かれた学校づくり	19	情報誌「筑摩」やHPに掲載する内容の工夫改善を図り、わかりやすい情報を提供できたか。	A	年7回の「筑摩」の発行、諸行事のHPへのアップや情報の更新が行われ、わかりやすい情報が提供できた。	中学生や地域の方々へもよりわかりやすく情報が提供できるよう工夫を行う。
		20	保護者や地域との連携強化を図る取組を行うことができたか。	B	環境整備作業、文化祭への参加協力等を頂けた。	通信制の特殊性に甘えることなく取組みの機会を見つける努力を行う。